

令和3年度シラバス（家庭）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	子どもの発達と保育	単位数	2 単位	学年(コース)	2 学年
使用教科書	実教出版「子どもの発達と保育」新訂版		授業形態	選択	
副教材等	なし				

1 学習目標（科目のねらい）

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	1章 子どもの発達の特性 発達と乳幼児期の意義 発達と保育環境 児童観と発達観	1 0	10	実習：折り紙を使った工作を体験しよう (保育検定3級にむけて)	1 6
5	2章 子どもの発達の過程 子どもの発育 子どもの精神発達 人間関係の発達		11		
6	実習：折り紙の教え方を体験しよう (保育検定4級にむけて)	1 0	12		
7			1	4章 子どもの保育 保育の意義と重要性 家庭保育と集団保育 保育の方法	6
8			2	実習：幼児のおもちゃ作り ：絵本の読み聞かせ	6
9	3章 子どもの生活 生活と養護 子どもの遊び 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	1 0	3	5章 子どもの福祉 子どもの福祉 子育て支援	6

計 6 4 時間（5 5 分）

3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもとかかわろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや家族の役割や地域の子育て支援について課題を見出し、思考を深め適切に判断し創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。

以上の観点を踏まえ、定期考査・課題・提出物・授業態度等から総合的に評価します。

4 担当者から一言

将来を描きつつ実習などを通して楽しく実践しながら、子どもの発達や特性についての理解を深めていきましょう。
(担当：本間)